

自由記述(抜粋)

【就学前児童】

1 保育所(園)・幼稚園・認定こども園について

- 保育所に年度途中で入れない状態であり、待機児童がいないのは表面的な部分しか捉えられていないのではないかと思う。
- 認定こども園の教育認定から保育認定への手続きをもっとスムーズに円滑にできるようにして頂きたい。
- 就労時間に関係なく毎日仕事へ行く方への対応を考えて頂きたい。
- 産前、産後が終わっても上の子を保育園に通わせたい。
- 待機児童が多すぎて(学童もあてはまる)、保育園が決まるまで苦労した。ママ友や友人も割と口をそろえて言う。基本希望の園には入れなかった。兄弟で別々の所に行かされるのはあたりまえ、同じ所に希望しているのに別々にされては意味がないし、送り迎えが負担になる。
- 育休を1年間にしていないと、保育園に通っている上の子が保育園を退所しないといけない制度は変えていただきたい。
- 1号認定でも希望すれば預けられるシステムが施設により異なるのではなく、一括して利用できるようにして下さい。料金は発生して良いです。長期休暇は周りに頼れる祖父母などがいない家庭は、かなり厳しいです。
- 子どもが保育所に入園できないと仕事が決まらないが、仕事が決まらなると園も決まらない悪循環がある。申請しても決まらないのに、なぜ仕事が決まったら決まるのか分からない。
- 習い事を考える年齢になりましたが、共働きで送迎してあげる時間がなく、させてあげられませんか。保育園の後、そのまま習い事を施設で受けられるといいなと思う。
- 働きたいと思っても希望する保育園に入れないと働けない。育休中に転園ができないのもよく分からない。もっと働きやすい環境を作ってほしい。
- 新型コロナウイルス感染症の対策もあるのか、子どもが登園している保育園では、親の仕事が休みの日は、なるべく子どもと過ごしてあげてほしいという雰囲気があり、平日に仕事がない日に子ども園にあずけることに後ろめたさを感じる。仕事は休みの日でも、引け目を感じることなく、子どもをあずけることができればいいなと思う。
- こども園の増設、定員拡大。兄弟が必ず同施設へ通園できるようにしてほしい。
- 保育園入園の条件を撤廃して希望する人が誰でも入園できるようにしてほしいです。
- 保育の先生を増やしてほしい。
- 保育所の預かり時間については他の自治体では7時という所もあるにもかかわらず、尾道は7時半と少し遅い。もう少し早めの預かり時間になることをお願いしたい。
- 保育園の申し込みをして返事～入園の期間が短く、備品などの準備が間に合わない年があった。もっと早くお返事をもらう事はできないか。
- 保育園の新年度の締め切りは転勤する世帯には少し長めに設定するなどしてほしい。

2 病児保育・一時保育について

- 病児病後児保育施設が充実していない点が気になる。過去に何度も意見をしても一向に改善されていないことに対して不満や、諦めのようなものを感じている。
- 病児保育を各エリアに1つは作ってほしい。
- 病児・病後児保育施設の利用条件が厳しい。結局利用できない。
- 病児保育をもっと使いやすくしてほしいです。(分かりにくく、とても使いにくい。) 子どもの体調不良で仕事を休まないようベビーシッターの情報(ファミサポではなく)や病児保育を行う場所が増えると子育てしやすいと思います。
- 無償化の現状があるのに一時保育での費用発生が理解できない。
- 買い物をする時に30分から1時間で良いので預かってくれる施設があればうれしい。
- どうしても子どもを誰かに預けたいときは、急に起こることで、ファミサポなどは事前登録が必要なのである意味使いにくい。会員制なもの(保険などで仕方ないが)突発でも利用できる何か施策を考えて実行してもらいたい。それなりの費用はかかっても仕方ないので、その辺りは理解しております。
- 母親が病気の時など子どもを預けたくても病気がうつるかもと心配で、ファミサポも頼みづらい。民間でも良いので、急な用でも預けられる保育施設があってほしい。
- ひとり親になってから夜間パートをしようと思うと、なかなか夜間見てもらえるところが探し出せないなので、夜間の預かり施設があれば助かると思います。
- 現在専業主婦をしているのですが、小さい子どもがいると自分のリフレッシュのために使える時間がどうしても少なくなるため、平日に無料で子どもを預けられる施設が近くにあれば助かります。また、気軽にベビーシッターを利用できるような体制をもっと整備されてほしいです。
- 1歳前でも一時あずかり施設を充実してほしい。
- 市の規模のせいもあるだろうが身寄りのない核家族で育児する時のサポートが乏しいのが問題だと思う。就労以外の休日保育要件がなく、乳幼児兄弟をファミサポで見ってもらうのは気を遣う。ひどい人には会ってないがファミサポ提供会員になるのに研修制度があっても良いと思う。

3 情報提供について

- 一時保育の利用、幼稚園、園庭解放などの情報がもう少し入手しやすいと助かります。
- 支援センターで行われる行事、イベントや、市のイベントなど子どもが参加できるものが一括で見ることができるサイトがあるとうれしいです。
- 子育て情報や遊び場についての冊子などがほしいです。
- 子どもの習い事の一覧や体験学習などの情報がほしい。
- 小学校入学前にどこの小学校へ行くのかアンケート用紙が配られますが、その時にも良いので放課後児童クラブの案内などもしてもらえるとうれしいです。広報をみてないと分からないでは情報量が少なすぎます。フルタイムで働いていると広報にまで目を届かせることができません。
- 保育園でコロナ陽性者が出た時に、クラス休業となり、我が子は症状も出てないのに検査が必要となりましたが、どこで検査が受けられるのかも不明で、問い合わせても

病院に断られ、結局経過観察となりました。コロナの発熱外来の窓口などがある小児科の情報などを教えてもらえる案内所や相談できる場所があると助かります。

- 保育施設などの情報をわかりやすくラインやHPで教えてほしいです。
- 市の子育て支援に関するホームページがスマートフォンからだと非常に見にくく分かりにくい。保育園、認定こども園の申込や施設に関する情報もスマホからだとよく分からなかった。今はスマホで情報収集するお母さんが多いと思うので、改善してほしい。
- 気軽に情報を得られるアプリがあればよい。もっとデジタル化が進んでほしい。
- 子育て支援センターの利用できる時間や、講座の情報、予約内容や定員に対して、今行けるのかアプリでリアルタイムに分かるとありがたいです。コロナで利用時間が限られ、時間を区切って部制に分かれ、定員もあるので問合せするよりも、アプリで確認できると利用しやすい。
- コドモンで月1回配布のおたよりが届きますが拡大しないと字が小さく見えません。子どもと一緒に読むには各自での印刷が必要です。本来であれば子どもと一緒に読んで健康や給食への興味をうながす役目もおたよりにはあるのではないのでしょうか。用紙の節約、確実に配布という点は有効かもしれませんが、教育の観点では疑問に感じます。合理化することと子どもを育成する、その両面で取り組みを考えていてもらいたいです。

4 相談について

- 自分から電話相談するのは勇気がいると感じます。インターネット予約で相談できる日が選べたり決めたりできたら、気軽に相談のハードルが下がるのではと思います。
- 乳児相談、月1の日時指定だと相談したいときにできなかったです。体調不良等で逃すと1か月後、これだと意味がありません。悩みは変わり、増えたりして溜まる一方…予約する気にもなれません。
- 小児科がないので、定期的に子どもの健康や発達について相談できる場所があればなと思います。
- 園で子供の気になる点を言われたが、平日は忙しく土日に相談しやすい施設や連絡先があるとよいと思う。すぐ病院へ(専門家)と言うのではなく、アドバイスしてほしい時が多々ある。例えばLINEやメールで気になることを相談。
- ワンオペ育児がしんどすぎて助けを求めたくてもなかなか求められないことが多いです。支援センターなど予約せずに気軽によれると少し気持ちが違うのかなと思います。コロナで仕方ないですが、声をあげたくてもあげられない人もいるのもう少し子育ての負担が減るイベントなど何かあればうれしいです。
- 尾道市は他と比べてネウボラ導入などで子育て施策に力を入れていると思いますし、実際地域の担当の保健師さん、支援センターの方々などたくさんの方に出産前から何度も支えられてきて感謝しています。
- 尾道に親戚が一人もいない中、通り一辺倒の説明・アドバイスではなく、私たちの居住地・家庭環境・子どもの特性に合わせておしゃべりしてくれる「たっち」「ぼかぼかむかいしま」等の先生方にはとても感謝しております。

- コロナ禍であまり出かけることもできない、保育所の園庭開放も行われていない、支援センター等は電話予約+使用できる時間が限られている為、行きたいと思った時に行くことが難しい(ハードルが高い)等の理由で、サポートされているようでサポートを受けられていない感じがします。ママ友も作りにくいので、紙パンツの宅配等で係の方が持って来て下さると話し相手ができたり、気軽に相談できたりしていいかなと思いました。

5 子育て支援センター等について

- 育休がのびて、コロナの中でしたが、向島の中で子育て支援センターが何か所かあるので、よく利用させてもらっていました。そこでたくさんの友だちができて今でもつながっています。実際、育休がのびて不安でしたが、子どもと関わる時間が増え、すごく楽しい時間を過ごすことができました。もし、二人目ができたら、育休期間を利用してたくさん支援センターに通いたいです。
- 支援センターではよくお世話になっています。コロナで予約しなくてはいけなくなったのが手間ですが先生達に相談しやすく、子ども達ものびのびと遊んでいます。これからは安心して利用できるよう、とりはからっていただけるとうれしいです。あと、おもちゃも古くなっていたりするので新しく安心して遊べるおもちゃを入れてほしいです。4~5歳の子もたのしく遊べるものも増やしてもらえると助かります。
- 育休中は支援センターにはとてもお世話になり、よく遊びに行かせてもらっていました。子どもと2人きりで家にいると子どもはかわいいのですが、明るい気持ちにはなりにくく、うつうつとしていました。支援センターに行くと第三者の目があるだけでぱっと気分が明るくなるし、大人と会話ができ、心が安らぎました。コロナになって時間が限られるので、時間どおりに行こうと思うと、子どもが寝てしまっても起こしたりする必要があったので、以前のようにフリーで行ける(予約もなしで)日が戻ってきてほしいです。
- 土曜日や祝日に、子育て支援センターが利用できたらいいと思います。
- コロナ禍での出産以降、第一子の時にあった親子カフェや母子教室が全て中止だったため、第二子と同じくらいの子や親とのつながりがもてない。今、2歳になり、何か同じ歳くらいの子が参加できる、予約がいらず自由に行けるイベントのようなものがあればうれしい。

6 医療・保健について

- 子ども医療を1人月4回までの通院ではなく、1家庭月何回までの通院にしてほしい。
- 子ども医療費の無償化をお願いしたいです。
- 1歳健診の際の補助券があると助かります。
- おたふくかぜ(ムンプスウイルス)ワクチンの助成が無いなど、他の自治体と比較して支援が薄いと感ずることが時々あります。
- 子どもを出産するのに尾道市内へ通院しなければならなかったり、子どもの病院は日にち時間が制限され、仕事をしている者としては遅くまでやっている小児科へ行くのに橋代と時間がかかりすぎてとても不満です。

- 小児科や専門的な病院が通うのにどこも遠いので、小さい子どもを連れて行くのは負担が大きいので何とかしてほしい。
- 因島にも小児科があってほしい。
- 瀬戸田に小児科がほしい。
- 1歳半まで健診は御調町内の保健センターで実施されており、健診の間、私(母親)が保健師さんと話す時は、保育士さんが子どもを見てくれるなど人が少ないからこそしっかり診てくださっているなと思いました。しかし医師不足のためか、3歳児健診では尾道市総合福祉センターでの開催で御調よりも時間も少なく子育てについてゆっくり話す時間もあまりなかったです。御調町内での健診再開を希望します。

7 障害のある子どもへの支援について

- 療育の分野においては、他の自治体よりも手厚くととても熱心にしていて、最近療育を必要とする児童、生徒が増えていることもありとても安心できる自治体であると思う。
- 因島にも療育施設があればいいなと思います。療育が必要なお友達や保護者が交流できる場があると嬉しく思います。
- 福祉センターに子どもの発達のための専門の職員をお願い。役場や福祉センターの職員の方は、専門知識がなく、気軽に相談ができない。

8 経済的支援について

- おむつ代、ミルク代がものすごく負担です。絶対に必要なものなので無料になればうれしいです。
- 病院などの際に島外に出た時の橋代の補助があると助かります。
- 少子化対策として、子ども手当の増額を希望します。
- 子育てする上での経済的支援があると、若い世代はもっと子どもを増やしたいと思うので、経済的不安を取り除く政策を考えてほしい。
- コロナ禍が始まり、物価も上がり家にいなければならなくなり光熱費や食費、マスクや消毒液など出費が増えていく一方です。全世帯経済的にも精神的にも苦しくなっています。ひとり親だけでなく、子どもがいる世帯、いない世帯全ての方に尾道市から給付金があればうれしいです。1年前ほどに商品券が配られた時は他の市にはない政策で好印象でした。
- 妊婦健診費用を40週超えた部分についても補助してもらえると助かります。不妊治療についての補助もあるが、ブライダルチェックについてもあればよいなと感じた。
- 母子家庭の児童扶養手当は、自身の親(子から見た祖父母)等の同居に関わらず手取りが少ない母子、父子の家庭に支給が少しずつでもあれば生活がしやすくなるのかなと思います。
- 保育園の料金を0～2歳児も全員無料にしてほしい。
- 園に兄弟がいる場合は下の子は半額。でも小学校に上がると兄弟がいても減額にならないのは不満です。どうにかしてほしいです。
- 子どもの医療費や保育費などの不安があり、2人目、3人目と子どもを作るのにちゅうちょします。お金に余裕があれば子供3人に憧れますが、色々とお金がかかりそう

なので1人で終わってしまうかもしれません。少子化をくい止めるのであれば、しっかりと金銭面で子育て世代を支えてほしいです。

9 仕事と子育ての両立について

- 小さな子どもがいても安心して働ける職場があったらうれしいです。働きたくてもそういう職場がないので不安を感じるし、ずっと一人で自宅にいるのも辛くなる時があります。内職でもいいからあれば生活費の足しになるのですが。
- 短時間で働ける仕事を増やしてほしいです。気軽に仕事につける環境を希望します。子育てと仕事の両立が女性の負担になりすぎていると感じています。
- 男性も育児休暇が取りやすくしてほしい。女性の育児休暇も3年は取れるようにしてほしい（1歳までは短い）。
- 共働きが増えている中で、市の子育てサービスが平日しか受けられないのはよくないと思う。病気で休むことも多いため、どうにかなる用事は土日にする。というか土日しか動けない。ほんとうに子育てしやすい町にしたいと思うなら、土日しっかり稼働して下さい。

10 子どもの居場所、遊び場について

- 歩いて行けるくらいの所に、きちんと整備されて、小さい子から小学生くらいまでが楽しく遊べるような公園がないのが不満です。
- 大型遊具等、子どもと外で遊べる環境が少なすぎる。
- 因島には遊具の十分な公園が少ない地域があり、子どもの遊び場に困る事があります。公園をもっと作って頂けたらうれしいです。
- 御調町内で子どもがのびのびと遊べる場所がもう少しほしい。道の駅の公園があるが狭いし、遊具ももう少し充実させた方が良く思う。
- 外で遊ぶ公園は必ずきれいなトイレを設置してもらいたい。
- 屋内で広々と遊べる施設があったらいいなと思います。暑い日や雨の日に体をしっかり動かせる施設がほしいです。
- 雨の日などに利用できる屋内の施設がもっとあったらいいと思います。
- 尾道は土日室内で遊べる所が少ない。コロナで子どもたちの居場所がない。
- 子どもが安全に遊べる児童館が尾道まで行かないと無い。小学生や幼児が土日等で親と一緒になくても、半日でも遊べる児童館を瀬戸田町内に作ってほしい。

11 安全・防犯について

- 住宅街を通り抜ける車（通勤等）のスピードや高齢者の車が歩道を走行（店に入る入口を間違えて）しているのを目の当りにし、子ども一人で行動できるようになってきた時期こそ気をつけるよう伝えなければと思っています。
- 家の周囲や上の子が通っている認定こども園の周囲に用水路が多く、子どもが転落した場合、死亡事故につながる危険を強く感じます。安全になるよう、ふたをつけるなど対策して下さい。
- 子どもが少ない分、子どもを狙った犯罪者に襲われるのではという不安がある。

12 子育て支援全般について

- 2人目出産に伴い、各機関へ問い合わせをして回りました。仕事にすぐ戻る必要があり、不安がたくさんあった為です。結果使えそうなサポートは「ファミリーサポート」のみでした。出産後すぐ働けるとしても、子どもが健康に産まれるのが条件、その時保育園に空きがあるのも条件、こんな状態で安心して出産できる働く母がいるでしょうか。問い合わせも土日はほとんどCLOSEなので平日に聞いてまわりました。出産後の子育てサポートも同様、実状困っている人とサポートの現状が乖離していると言わざるを得ないと思います。もっと他の自治体から良いものを取り入れるべき。
- 現在臨月の妊婦です。第二子の出産にあたり、上の子どもを幼稚園に預ける時に新生児期だけでも送り迎えをしてくれるサービスなどがあればかなり助かります。
- 他の地域と比べて市からの子育てのサポートがなさすぎる気がする。コロナが流行している今、金銭面からもそうだがサポートをして頂けないかと思う。子育て家族のできるだけ全てが受けられるサポートがあれば知りたい。尾道市だけではなく、どこに住んでいてもそうだが、ひとり親ではない核家族の子育て家庭へのサポートも増えてほしい。
- 観光客に対するイベントが多く、子どもが楽しめるイベントが少なく感じます。
- 父親向けの子育て講座を増やしてほしいです。ただ遊ぶだけではなく、家事・育児への関わり方、マタニティブルーへの向き合い方などの講座があると助かります。
- もっと書類をデジタル化してほしい。
- 子どもの成長に伴い、市の教育に関わる機関に対する声を耳にする機会が増えています。例) 小学校の教育方針など。近隣の市町の教育施策、世の中の動きをもう少し情報収集をしていただき、様々な価値観の人が集まる尾道市の子育て環境をより良くしていくと良いと思います。
- 支援センター等以外で、子どもをつれて遊ばせられて親も買い物などをする、大きな商業施設のようなものがあればよいのにいつも思っています。
- 駅前等を子どもと散歩したいですが駐車料金払ってまではいいと思います。尾道市民のメリットが感じられません。観光事業の収入が子育て世代へ少しでもプラスになれば古い街との新しい時代の共存が見えてくるかもしれません。
- 尾道市の中でも田舎の地域に住んでいるから、地域の方が赤ちゃんをつれていてと声をかけてくれる事が多く、育休中は社会とのつながりも少なかったので嬉しかったです。

【小学生】

1 教育について

- 学校で担任の先生1人だと全員を見ることができていない気がするので、2人体制で授業を行うようにしてほしい。
- 学校の統合をしてスクールバスなど整備してほしいです。子どもがなるべく自分の力で通えるようにしてほしいです。
- 今年から初めて複式学級が小学校で始まりました。複式学級はデメリットの方が多く、先生、子どもの負担が大きいと思うのですが、しっかり教育が受けられているか心配です。また、中学校にあがるとより人数も減り、この状況が良い方向に行くとは思えません。中学校は隣の区域の中学校と合併するか何か対策をしてほしいです。
- 学校設備にもっと予算を使ってほしい。タブレットを配布するなら、保険がかけられるようにするべき。
- 我が子も含めて、周りにも学校が楽しくない子がたくさんいることにすごくおどろいています。(複数の学校で) 幼少期には子育てに満足していましたが、今は学校や放課後の過ごし方に十分満足していません…。
- 他市に比べると文化的・科学的教育を体験できる機会が少なく、勉強を楽しめるきっかけがないように感じる。(逆にスポーツなどは盛んだと感じる) 両親とも他県出身なので地方と都市部の教育の差をととも感じます。
- 不登校なのですが、小学校からは学校のプリントを渡されるだけで、まったく情報がきません(適応教室や県の教育委員会が行う支援等)。ネットで県の教育委員会のページを毎回チェックしないと情報がわかりません。適応教室は尾道市街のみ対象ですか。県の教育委員会の情報(ホームページ)を基にこちらから学校へ問い合わせないと申し込み用紙すら手に入らないです。もう少し不登校の子どもへの支援をしてもらいたいです。
- 小学校の給食をネットで見ましたが、もっと食育に力を入れてほしいです。健康的で、おいしく、いろんな食べ物を取り入れてほしいです。小・中学校の9年間、成長期なので中学校も食育の考えられた給食を食べさせてあげたい。
- 学校の人数の差が大きすぎるので、子どもがいる、いない地域へもう少し人数を考えてもらえるとうれしい。学区内でも通学を考えてしまうことがある。

2 放課後児童クラブについて

- 児童クラブの終わる時間を18時半までにしてほしい。
- 学童の待機をなくしてほしい。小6まで学童へ通える環境。
- 放課後児童クラブ利用について、一定の条件下でもよいので、土曜日みの利用・平日の1日のみ利用など1回の利用金額を払えば利用できるようにしてほしい。
- 児童クラブの対応がぶっきらぼうでこわい。子どもが通いたくなるような気もちのよい対応をお願いします。
- 放課後児童クラブ(栗原)の部屋に対して子どもの数が多いと思います。6年生までみてもらえると聞きましたが、兄の時に待機となりました。結局は使用できないのかと

ガッカリしました。

- 放課後児童クラブの人数が多いので、いつも子ども達はギュウギュウでせまそうです。コロナが流行していつ感染するかひやひやしています。先生方の努力はありがたいです。場所が広い所があればいいのにと考えています。また、開始時刻が8:00からなので仕事が早い親は困っていると聞きます。7:30開始だとありがたいです。
- 学童や保育園への入りやすさや、申請書類の簡略化を切に願います。
- コロナで学童が休みになると、親が休むしかなく、有休もなくなりしんどいです。陽性者ではなく、濃厚接触者でなくても学童が休みだと留守番できない小さな子もいて休むしかありません。広島市のように民間の学童があるのかまで調べていませんが、夏休みでまた学童閉めますとなると一日中なのでとても困ります。
- 学童が8:00~18:00までしかないので困る。18:00に間に合わない様なら、自分帰りさせたいが、16:30までなので、長時間、1年生に留守番させることになる。延長で余分にお金がかかってもいいのであずかってもらえる様にしてもらいたい。せめて7:30~18:30でお願いしたいです。
- 小学生の放課後児童クラブの利用時間、18時まででは仕事上難しい人も多いのではないのでしょうか。もう少しでも余裕のある利用時間(もう30分でも)であれば助かるし、子育てに不安を抱かなくてもよくなるのでは。
- 放課後児童クラブがただの預かりになっており、安心、安全、健やかな成長、自主性をどのように考えているのかがわからず、働き続け子どもを預けるのが不安です。スケジュールや支援の見直しと指示ではなく、見守りをしていただけるとうれしいです。

3 情報提供について

- どんなに便利ですばらしいサービスも知らないと使えない。子育てに限らず、行政からの情報提供はとても不親切に感じる。仕組みが分かりにくいし、説明文もわかりにくくて、自分が使えるサービスなのか、まったく分からない。「明日使いたい！」時に事前登録が必要だったり、使う側の事を全く考えてないサービスも多く、使いにくい。
- 支援が必要な子どもに対して、このような取組がありますよ、といった情報を幅広く伝えてほしいです。
- 習い事をさせたいと思った時に、子育て支援課に島内の習い事の一覧がないのが困っている。人伝いで情報を集めるしかないのが不便。
- コドモンのような、スマホで連絡が取り合えるシステムがもっと広がれば、親だけでなく先生の不足も少なくなると思います。
- コドモンは親(利用者)側から発信して、返信があるとうれしいと思う。確認済みにはなるが、結局、夕方に学校へTELしたりして様子を問い合わせたりしないといけない。

4 相談について

- 小、中学生の子について相談できる機会がほしいです。
- 学校に通いはじめて、急に变化してしまう環境、親子でとまどいも多く、慣れないことがあります。学校や教育のこと、子どものこと、もっと気軽に相談や意見のいえる場所をつくってほしいです。(あるなら教えてほしい)

- 相談をしたとして、親や本人の同意がない限り記録に残したり、引継ぎをしたりしないでほしい。子どもに関係ないことで役所に行ってもあの家族は子どものことで不安に思っている家だと思われそうで疑心暗鬼になってしまい相談しにくい。
- もう少し子育てについて気軽に相談できる体制をつくってほしい。すぐ虐待と結びつけられているように感じて相談しにくい。
- 悩みや不安のある人にとっては、親切に接していただくことが、心の負担が軽くなり、たらい回しではなく、その人の気持ちにそって接してもらおうとうれしいかな。私自身がそのような接し方をされて大変助かりました。
- コロナの始まる前は、子育てサークルなどで友人をつくったりして、楽しく過ごせていました。今はそれができないので残念です。
- ハードルの低い支援で、そして島での大切な支援の場、これからのお母さん達にも残してあげてほしいです。子どもも少ない島なのでいつか保健師さんも配還されなくなってしまふのかな…という不安があります。相談するのにわざわざ橋代を出さなくてもよいように、SOSの出せる場は近くにあってほしいです。人とのつながりを大切にできる子育て支援策を希望です。コロナで長期のお休みを親子ですごし本当に人と直接あって話したり遊んだりする事が親子共とても大切だと実感しました。オンラインもいいけれど…まずは人です。

5 医療・保健について

- 島内に小児科がないのが困っている。かかりつけ医が定まらない。
- 因島や瀬戸田は小児科がなく（因島病院の受付時間では仕事をしていると行きにくい）、島外に行くにはつねに橋代がかかり負担である。また、コロナ禍において他の地域の病院へ行くリスクはどうかなど考えてしまう。
- インフルエンザ予防接種を高齢者の方のように子どもの負担も1000円などにしてもらえると助かります。

6 障害のある子どもへの支援について

- 入学後に子の発達が心配でも、自分で調べていかなければ放置されている。どこに問い合わせればいいのか分からない。
- 発達障害の相談、病院を増やしてほしい。少し問題があるからと言って支援学級行きになっていると思います。学校の教育だけでは、勉強についていけない人もたくさんいる。学習を教える所をふやすべきだと思う。
- 放課後デイサービスの長期休みを朝から夕方までにしてほしい。
- 子どもが自閉症で発達支援を受けています。理学療法士さんをこの4月から利用するにあたり、福山の伊勢ヶ丘まで月に2回通っています。尾道にも同じような施設ができ、理学療法士さんや作業療法士さんがいたら良いなと思います。
- 療育施設の事や放課後児童クラブ、放課後デイサービスについてもっとくわしく教えてほしいです。小学校のことももっとくわしく知りたい。特別支援学級のことなど。

7 ひとり親への支援について

- ひとり親のための情報などをもっと教えてほしいです。気分転換のためにも気軽に子どもを安心して預けられる場所がほしいです。できれば「送迎」などもあると心強いです。ひとり親の母は時間がありません。就労・通院以外でも子どもを預かっていただけると心も体もうるおう時間も増え、子どもとも笑顔ですごせる時間も増えるような気がします。
- ひとり親受給者証に関して、1家庭につき1枚ではなく、1人につき1枚にして頂けると大変助かります。子どもを預けて自分が病院へ行く時など、1世帯に1枚だと大変不便に感じる事があるため（同じタイミングで別々の病院へ行く時など同時に使えない）困ります。

8 経済的支援について

- 旧尾道市内には便利なサービスがあるのかもしれませんが、島にはありません。病院も島外で交通費はバカになりません。進学するにも交通費負担が大きいです。同じ市内と言うなら島しょ部へのフォローがほしいです。
- 因島に住んでいるので子どもに関わる病院問題や進学の際の交通費など経済的不安を感じる。子どもの未来、可能性のため援助をお願いします。
- 少子化対策として子ども手当を増額してほしい。
- 児童手当について、第3子は第1子と年齢差があるとすぐに第1子が高校生になると減額となる。保育園も兄弟が保育園へ通っていれば無料等、現代は昔と違い年齢差のある子どもが多い。第3子や第2子というのは実際の生まれ順としてほしい。結局は3人育てていてお金がかかることに違いはない。不公平感があります。
- 大学進学時に大学卒業後数年は尾道での就労など条件をつけてでも大学進学等にかかる助成金などの給付があると助かる。

9 仕事と子育ての両立について

- 子育ての負担は、どちらかという、母親の方にかかる。子どもに合わせて就労時間を短くする、休むなど。父親は職場環境のせいか、子どもの都合に合わせて仕事をしづらい。父親が子育てにより参加出来るように、行政から企業へ働きかけてほしい。

10 子どもの居場所、遊び場について

- 市街地に公園がなく、子ども達が集まる場所がない。
- 近所の公園はなくなり、子ども達が集まって遊べる場所が少ないので困っています。学区内に学校以外でボール遊びなどの運動ができる場所がないので、安心して子どもを屋外で遊ばせてやる事ができません。今以上に尾道が子育てしやすい町になって家以外に子どもの居場所を作っていただけると、親としては安心して子どもの成長を見守っていただけます。
- コロナで子どもの遊ぶ場所を制限しているため、かわいそうだと思う。自由にさせたいが、人が多い場所などは行きづらい。
- 子どもが主体となってひらくマーケット・お祭り等があったらいいなと思います。
- 放課後に友達と思いきり遊べる施設が少なく感じています。スポーツなど所属チーム

に入っても、草野球やドッジボールなどを自由にできる広場がもう少しあると、運動もできて学校のクラスとは異なるコミュニティが出来るので、心身の発達に有効だと思います。

- 公園の大型遊具が近隣の市の公園と比べ、劣っている。尾道市で遊ぶのではなく、そちらの方に行って遊ぶことがほとんどなので、整備してほしい。
- 瀬戸田に児童館を作してほしい。
- 向島にも児童館があればいいなと思います。
- 各学区に最低1つは自由かつ安全に子どもが過ごせる場所（児童館のような専門（そうでなくてもよい）の職員が常駐している場所）がほしい。
- ネット環境が優れている図書館を作してほしい。小学生もすでにパソコン等で宿題を出されているので、長期間の休みの時に図書館に多くのパソコンが用意されているとありがたい。
- 学区ごとに図書館や自習ができる場所を作してほしい。
- 子どもが多い地域と少ない地域で利用出来る施設が限られたりするため、平等にしてほしい。

11 安全・防犯について

- 通学路の安全対策をしてほしい。壊れそうな建物、古いブロック塀などがあるので心配。
- 登下校の際、歩道が無かったり狭かったり、ガードレールが途切れてない場所があったり、危ないと思う箇所が多々あります。また、夏は猛暑で遠方の子もたちは熱中症の症状を訴え数日寝込む子も少なくありません。歩道が無いため回り道で通学時間がのびている地域もあります。通学路を安全に、子どもたちが元気に通える地域になると良いなと思います。
- 交通量の多いところへ点滅信号・横断歩道等を設置してほしいです。事故がおこる前に設置場所の見直し、検討をして頂きたいです。
- 家の近くの通学路がせまく、車のぬけ道になっているので交通量も多いので事故が心配。低学年の子どもも多く通っている道のため不安が絶えない。
- 小学校へ通う通学路の事故が心配。

12 子育て支援全般について

- もっともっと未来を担う子どもたちに、子育て世帯に寄り沿って頂けると、もっと子育てしやすいまちになると感じます。他の市や県にはない尾道のすばらしい子育てサポートを期待しております。
- もっと大々的な施策を掲げてほしいです。「尾道で子育てをされていて良い所は？」と聞かれて答えるものがパツと出てきません。
- 尾道市内は充実しているかもしれませんが、島は充実していません。
- 母（私）は仕事をしていて、父は単身赴任で一緒に暮らしていません。そういった場合手続きの際、役所が閉まってしまうので予定が組みにくいです。土日も手続きができる環境だとありがたいです。

- 国の施策以外に、子育てにおける経済的負担の緩和や、安心してサポートが受けられる機会など、特徴的な支援を行い、尾道市が子育てしやすい街になり、多くの人に知れ渡るといいなと思いました。
- 子どもが参加できる習い事が少ない、イベントも少ない。
- コロナが落ち着いてきたら、子どもが参加できる行事を開催してほしいです。盆踊りも花火もないのがさみしいです。子どもの頃に経験することに意味があると思います。夏休みなど長期休暇に参加できる泊まりがけの（2・3日）合宿で、いろんな経験ができればいいです。市の主催なら参加します。
- 子どもがどんどん少なくなっていると感じます。令和生まれの子の同級生が少なく、これから大きくなっていくのに、学校生活はどうなるのかなど不安。子どもが増える様、子どもが産みやすく、育てやすい環境になっていけば良いと思う。
- 新型コロナウイルス対策によって、子どもたちのおかれている環境は制限や中止ばかりで、とてもとても窮屈になっていると思います。このような状況が長引くと、子どもの成長発達に与える影響は図りしれないものになると危惧しております。不必要な施策が取り除かれ、子どもたちが生き活きと過ごせる環境になることを心より願っています。